

平成 27 年度 第 6 回 社会貢献委員会の結果について

開催日時 平成 28 年 1 月 28 日 (木) 午後 0 時 00 分から

開催場所 東北遊技機商業協同組合 会議室

第 1 号議案 第 5 回定例理事会結果報告等について

(1) 平成 27 年度寄付行為について

① 児童養護施設に対する寄付行為について

寄付金額、1 施設当たり 10 万円×33 施設＝330 万円については、前回理事会において承認済みであるが、今回（1 月 15 日開催）の理事会において、役員に係る寄付行為の具体的日程及び贈呈者の調整が行われたこと。

また、寄付行為に賛同頂く中部遊商様は、3 月 15 日（火）岩手県及び宮城県の施設を訪問することとなったことの報告がなされた。

なお、本委員会において各委員の贈呈式への参加について協議により人定をした。

② 公益法人に対する寄付行為について

毎年度末、宮城県防犯協会連合会、宮城県暴力団追放センター、宮城県犯罪被害者センターの 3 団体に対し各 10 万円、計 30 万円の寄付を行っているが、本年度も例年どおり、3 月 18 日午前 11 時から五役により贈呈式を実施することが理事会決定されたことについて報告がなされた。

(2) 献血活動の実施状況について

活動期間を 1 ヶ月余りを残し、1 月 27 日現在、献血参加者 22 名うち献血実施者 18 名の途中経過の報告がなされ、今後、再協力要請文書を発出するとともに、社会貢献委員自らの販社所属社員の参加を促し本活動を更に推進することとした。

(3) 非常用備蓄品の配付等について

① 非常備蓄品は組合会議室の一部に保管しているが、会議室全体の約 3 割のスペースを占有し、狭隘の要因となっており、また、当該備蓄品は非常事態の際、組合員に配付するものとして保管しているが、実際に災害等が発生した場合、組合員に配付する手立てが無く現実的運用が困難であることから、予め組合員側に下表のとおり配付し非常用備蓄品として保管・活用して貰うものとされたこと。

非常用備蓄品配付案							
No.	非常用備蓄品目	数量内訳	保存推奨期限	在庫	75社	配付数	残数
					1社当たり		
1	アルファー米 五目ごはん	50食入り	2017/11	80箱	1箱	75箱	5箱
2	災害備蓄用パン（オレンジ）	24缶入り	2017/8	80箱	1箱	75箱	5箱
3	保存水500ml	24本入り	2017/9	80箱	1箱	75箱	5箱
4	保存水2ℓ	6本入り	2017/9	160箱	2箱	150箱	10箱
5	防災加工タオル			400枚	5枚	375枚	25枚
6	救急アルミックシート			640個	8個	600個	40個
7	単一アルカリ電池	10本入り	2017/9	80箱	1箱	75箱	5箱
8	単二アルカリ電池	10本入り	2017/9	80箱	1箱	75箱	5箱

② 今後の非常用備蓄品の対応措置として、組合が新たに非常備蓄品を購入し、各組合員に配付・保管を委託することは配当行為にあたるため、中小企業等協同組合法及び税法

上に問題があることから、予算科目として「非常災害引き当て金」を設定し、万が一の災害時には、当該引き当て金により支援物資を購入し、直接被災組合員等に送付するものとし、具体的には、平成28年度予算から通年予算として、過去の購入実績額を目安に、「非常災害引き当て金」300万円の予算計上することとされたこと。

- ③ 組合事務局用（10人程度分）の非常用備蓄品は、現存備蓄品の保存推奨期限が満了となる、平成29年度予算に計上することとされたこと。

以上、3項目の理事会決定の報告がなされた。

(4) オレンジリボン支援グッズの頒布について

第6回臨時理事会で了承決議された「オレンジリボン支援グッズの頒布」について、1月15日付けて組合員宛通知の発出と下記グッズの送付作業を完了した旨の報告がなされた。

頒布品目及び数量（1社当たり）

- | | |
|----------------|----|
| 1) ピンバッジ | 5個 |
| 2) メモ帳 | 5個 |
| 3) ボールペン（3本入り） | 1個 |
| 4) うちわ（5枚入り） | 1個 |

(5) 公益財団法人・宮城県暴力団追放推進センターへの賛助金について

平成28年1月7日付けで公益財団法人・宮城県暴力団追放推進センターより納入依頼の当該団体への共助会費5口5万円の納入について理事会承認された旨の報告がなされた。

第2号議案 リカバリーサポートネットワーク（RSN）支援室視察結果について

- (1) 視察日時 平成28年1月19日 午後1時45分～3時30分
- (2) 視察場所 全商協事務局内リカバリーサポートネットワーク支援室
- (3) 参加人数 理事9名、社会貢献委員7名、計16名
- (4) 視察内容
 - ① RSN支援室において、実際に「電話相談」を受理している状況を視察
 - ② 全商協久我事務局長の説明を聴講
 - ・RSN支援室の設立の趣旨
 - ・RSN支援室の体制、運用方法
 - ・相談受理状況（受理件数、相談者の年齢・性別、相談内容）
- (5) 社会貢献委員の視察感想等
 - ・沖縄のRSN本部に行って実態を詳しく知りたくなった。
 - ・実際にはぱちんこをしている本人よりも家族の人が困っていると思うので、本気でやるのであればそちらの方にも新聞等で広報して欲しい。
 - ・当日は相談電話が少なかったようだが、今後、ティッシュペーパーの配布等の広報活動により相談が増えてくると思うので健全化に期待できる。
 - ・中々相談出来ない人も居ると思うので、RSNで簡単に相談できる環境をつくって欲しい。
 - ・ぱちんこ業界はグレーなイメージを持たれているので、このような社会貢献活動で社会と行政にアピールして行く必要がある。

第3号議案 平成27年度「支出予測」及び平成28年度「活動事業計画及び予算計画」について

- (1) 平成27年度「支出予測」について
- (2) 平成28年度「活動事業計画及び予算計画」について

新たな予算として、未加入公益法人5団体に対する協賛金25万円、非常用災害引当金300万円、未確定の植樹祭費、オレンジリボン支援金、災害義捐金に充当するための予備費50万の予算措置について説明がなされ、満場一致で了承可決され、次回理事会に上程するものとした。

以 上